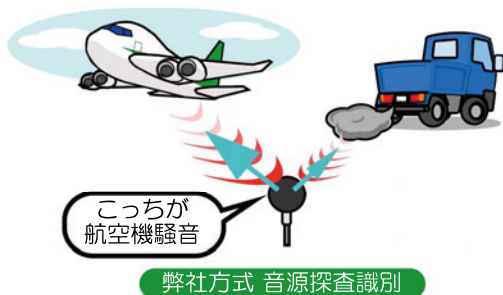


## 小型航空機音源探查識別装置

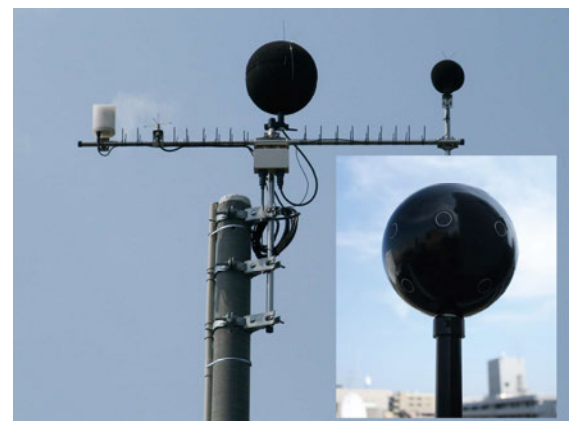
**SD-100** [AIRCRAFT NOISE SOURCE DISCRIMINATOR]

## 軽量・コンパクト化を実現した航空機音源探查識別装置

「人の耳に代わる」航空機騒音識別装置として定評のある航空機音源探查識別装置（DL-SBM）のコンセプトと基本性能を兼ね備え、軽量・コンパクト化を実現した小型航空機音源探查識別装置が「SD-100」です。設置の手間を大きく削減でき、短期の航空機騒音測定の利用にお手軽にご利用いただけます。



相関法による音響識別手法とは異なり、弊社の「音源探查識別」は複数音源の中から最も寄与の大きい音源を特定することができます。同時に多くの音が入り混じる空港近傍での地上音評価にもこの技術は欠かせません。



DL-SBM 設置写真

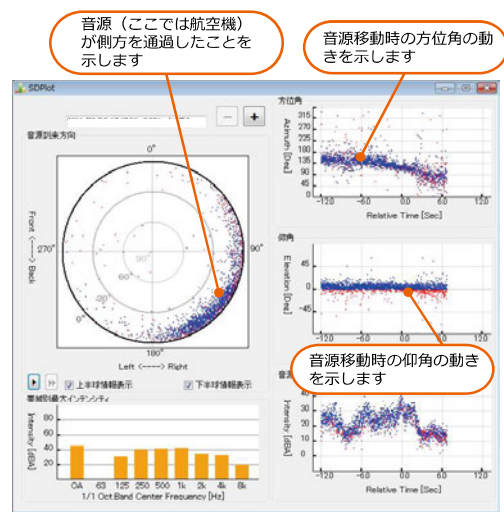
# 同時に複数の音源が混在する中で最も寄与の 大きな音源を特定可能な『全方位音源探査技術』

## ①分析にかかる手間を大きく削減

近年の空港の沖合展開、あるいは海上建設に伴い、陸域における航空機騒音の監視測定においては、観測点周辺のその他の騒音（交通騒音、生活環境騒音等）の影響を受けて、航空機による騒音のみを正確に評価するのが非常に難しくなっています。従来は航空機通過時の生音を録音しておき、後処理にて分析員がそれを逐一再生聴取して評価していましたが、観測点の数や測定日数が増えるとその作業にかかる手間は膨大となります。航空機音源探査識別装置は『全方位音源探査技術』により航空機のみ騒音影響を自動的に切り出して評価することで、分析員の手間を大きく削減することが可能です。

## ②『地上騒音』の音源を的確に特定

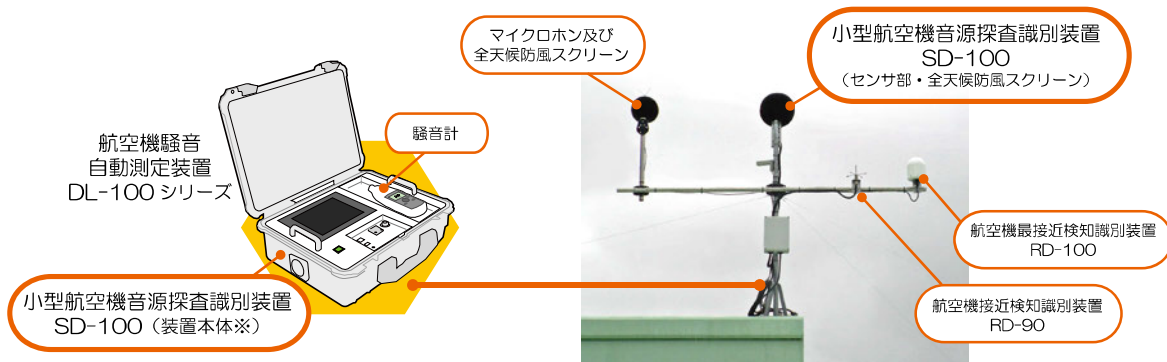
航空機騒音の評価量である $L_{den}$ （時間帯補正等価騒音レベル）においては、空港近傍で発生する「地上騒音」（地上での航空機の運用に伴う騒音）を適切に評価することが可能です。地上騒音には多種多様な発生要因があり、飛行経路に沿って広範囲に影響を及ぼす「飛行騒音」と比較して、そのほとんどは空港近隣において局所的・多発的に発生するものです。自動測定された騒音の中から手作業によって地上騒音を抽出するためには、終日に亘って騒音レベル波形を精査し、録音された生音を聴取しながら特定する必要があります。膨大な手間を要することとなります。航空機音源探査識別装置、観測点に対して空港の方向から騒音が到来していることを検出し、またそれ以外の周囲からの騒音より強度レベルが卓越しているか否かも合わせて評価することが可能で、地上騒音の識別・抽出作業を効率化する非常に有用な情報を得ることができます。



音源探査の分析例  
(弊社製音源探査分析ソフトウェア『SD-Plot』)

## 機器構成例

小型航空機音源探査識別装置「SD-100」は、航空機騒音自動測定装置「DL-100」シリーズのオプション機器としてご利用いただけます（単体でのご利用はできません）。



※固・移動測定局によって、SD-100 装置本体の組み込み方法、センサスタンド設置方法及び外観が異なります

## 仕様

装置構成	音源探査マイクロホンセンサ（全天候防風スクリーン含む）、センサケーブル装置本体
使用温度/湿度範囲	0℃～50℃（屋外設置品は-10℃～50℃） / 90%以下
入力電源/消費電力	AC100V ±5%, 50/60Hz ±1% / 最大約 30W
寸法・重量	センサ部：260mm(W) × 260mm(D) × 390mm(H) 重量：約 1kg 本体部：430mm(W) × 200mm(D) × 44mm(H) 重量：約 2kg
ダイナミックレンジ	70dB 以上 (500Hz)
周波数帯域	測定周波数帯域：20Hz～4kHz 分析周波数帯域：250Hz～4kHz
周波数分解能	1 / 1 オクターブバンド
時間分解能	最高 10msec
方向分解能	約 5°

## 製造・販売

### 日本音響エンジニアリング株式会社

〒130-0021 東京都墨田区緑 1-21-10

03-3634-5309 (DL 事業部)

〒591-8002 大阪府堺市北区北花田町 3-42-1

072-256-6811 (大阪営業所)

URL : <http://www.noe.co.jp>